



ディザスタ リカバリの設定

SnapCenter software

NetApp
November 06, 2025

目次

ディザスタ リカバリの設定	1
SnapCenter Plug-in for SQL Serverのディザスタ リカバリ	1
SnapCenter Plug-in for SQL Serverのストレージのディザスタ リカバリ (DR)	1
SnapCenter Plug-in for SQL Serverのセカンダリ ストレージからプライマリ ストレージへのフェイルバック	2

ディザスタ リカバリの設定

SnapCenter Plug-in for SQL Serverのディザスタ リカバリ

SnapCenter Plug-in for SQL Serverが停止した場合は、次の手順に従って別のSQLホストに切り替え、データをリカバリします。

開始する前に

- セカンダリ ホストのオペレーティング システム、アプリケーション、ホスト名が、プライマリ ホストと同じである必要があります。
- ホストの追加 または ホストの変更 ページを使用して、SQL Server 用のSnapCenterプラグインを別のホストにプッシュします。見る["ホストの管理"](#)詳細についてはこちらをご覧ください。

手順

1. ホスト ページからホストを選択し、SQL Server 用のSnapCenterプラグインを変更してインストールします。
2. (オプション) SnapCenter Plug-in for SQL Serverの構成ファイルを、ディザスタ リカバリ (DR) バックアップから新しいマシンに置き換えます。
3. WindowsとSQLスケジュールを、DRバックアップのSnapCenter Plug-in for SQL Serverフォルダからインポートします。

関連情報

参照["災害復旧API"](#)ビデオ。

SnapCenter Plug-in for SQL Serverのストレージのディザスタ リカバリ (DR)

SnapCenter Plug-in for SQL Serverのストレージをリカバリするには、[Global Settings] ページでストレージのDRモードを有効にします。

開始する前に

- プラグインがメンテナンス モードであることを確認します。
- SnapMirror/ SnapVault関係を解除します。"[SnapMirror関係の解除](#)"
- セカンダリのLUNを同じドライブ レターでホスト マシンに接続します。
- すべてのディスクが、DR前に使用していたのと同じドライブ レターで接続されていることを確認します。
- MSSQLサーバ サービスを再起動します。
- SQLリソースがオンラインに戻っていることを確認します。

タスク概要

VMDK構成およびRDM構成では、ディザスタ リカバリ (DR) はサポートされません。

手順

1. 設定ページで、設定 > グローバル設定 > *災害復旧*に移動します。
2. *災害復旧を有効にする*を選択します。
3. *適用*をクリックします。
4. モニター > ジョブ をクリックして、DR ジョブが有効になっているかどうかを確認します。

終了後の操作

- フェイルオーバー後に新しいデータベースが作成されると、データベースは非DRモードになります。

新しいデータベースは、フェイルオーバー前と同じように動作し続けます。

- DRモードで作成された新しいバックアップは、[Topology]ページの[SnapMirror]または[SnapVault (secondary)]に一覧表示されます。

新しいバックアップの横に、これらのバックアップがDRモード中に作成されたことを示す「i」のアイコンが表示されます。

- フェールオーバー中に作成されたSnapCenter Plug-in for SQL Server のバックアップは、UI または次のコマンドレットを使用して削除できます。 `Remove-SmBackup`
- フェイルオーバー後、一部のリソースを非 DR モードにする場合は、次のコマンドレットを使用します。
`Remove-SmResourceDRMode`

詳細については、"[SnapCenterソフトウェア コマンドレット リファレンス ガイド](#)"。

- SnapCenter Serverは、ストレージ リソースがDRモードであるか非DRモードであるかにかかわらず、個々のストレージ リソース (SQLデータベース) を管理しますが、ストレージ リソースを含むリソースグループは管理しません。

SnapCenter Plug-in for SQL Serverのセカンダリ ストレージからプライマリ ストレージへのフェイルバック

SnapCenter Plug-in for SQL Serverのプライマリ ストレージがオンラインに戻ったら、プライマリ ストレージにフェイルバックする必要があります。

開始する前に

- 管理対象ホスト ページから、SQL Server 用のSnapCenterプラグインを メンテナンス モードにします。
- セカンダリ ストレージをホストから切断し、プライマリ ストレージから接続します。
- プライマリ ストレージにフェイルバックするには、逆再同期処理を実行して、関係の方向がフェイルオーバー前と変わらないようにします。

逆再同期操作後にプライマリ ストレージとセカンダリ ストレージの役割を保持するには、逆再同期操作をもう一度実行します。

詳細については、"[ミラー関係の逆再同期](#)"

- MSSQLサーバ サービスを再起動します。
- SQLリソースがオンラインに戻っていることを確認します。



プラグインのフェイルオーバー中やフェイルバック中は、プラグインの全体的なステータスはすぐには更新されません。ホストとプラグインの全体的なステータスは、次回のホスト更新処理で更新されます。

手順

1. 設定ページで、設定 > グローバル設定 > *災害復旧*に移動します。
2. *災害復旧を有効にする*の選択を解除します。
3. *適用*をクリックします。
4. モニター > ジョブ をクリックして、DR ジョブが有効になっているかどうかを確認します。

終了後の操作

フェールオーバー中に作成されたSnapCenter Plug-in for SQL Server のバックアップは、UI または次のコマンドレットを使用して削除できます。 `Remove-SmDRFailoverBackups`

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。